

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会

DO YOU KNOW? にいがた



SEP. 2025
Vol.448

9

よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指す



「定番」製品を持たず、
積み重ねてきた
経験や技術と
応用力で勝負する

【小林鉄工株式会社 代表取締役】
小林 大士 氏 燕支部

あらゆる要求に応えることのできる社風を継続する



PROFILE

小林 大士さん

小林鉄工株式会社 代表取締役

小林鉄工は 技術力で勝負をしてきました

小林鉄工は祖父が設立した会社で、戦後に旋盤をつかって1961年にガレージで始めた会社は、仕事が増えてきたため、今の社屋のある地域に移転し1988年6月に株式会社化しました。自社製品があつてそれを売ってきた会社ではなく、技術を売ってきた会社で、顧客のニーズがあり、そこに応えられるかで勝負しています。分野としては大物旋盤加工技術を売りにしています。

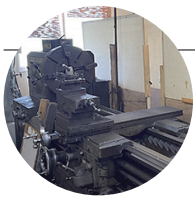
顧客の動向としては、リーマンショックの折に1社に偏っていた体制を見直し、現在は売上比率1割を超える顧客を作らないように営業に力をいれています。

現在の社員数は30名で、わたしが入社した時点は24名でした。当時、最若手が28歳という会社であつたので、新卒採用を開始し3年間継続しました。その中の2名が退社したことが経営指針成文化と実践の会を受講するきっかけになりました。

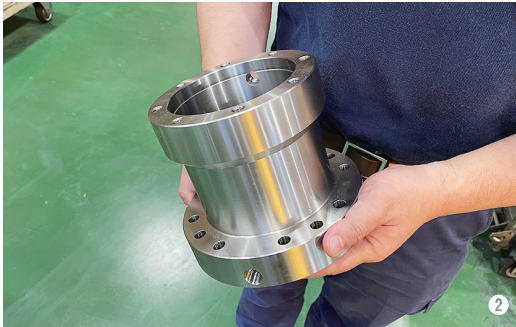
SEをやめて入社し営業職に

大学を卒業して関東でSEの仕事をしていたのですが、過酷な仕事であつたこともあり、家庭を持った30歳で跡継ぎとして帰郷し入社しました。技術職として学んでから管理職になつていく形ではなく、営業職として勤務しながら加工技術について学んでいきました。

飛び込み営業で顧客に話すために自社の技術を学んで整理をして新規営業しましたが、当時は知識不足もあり「自社の強み」や「対応力」を伝えることができず苦勞もしました。成果をあまり出すことが出来ず、展示会出展に



- ① 1mまでの大型旋盤加工が可能な工作機械
- ② 旋盤加工と穴あけ加工で様々な製品を作成する
- ③ 原材料と加工品



力を入れていく中で商談機会を作ってきました。対面営業では多くの知識をその場で求められるケースが多く異業種からの転職では対応しきれず、展示会というシチュエーションがちょうどよく合致した形でした。展示会に出席する中で、1m以上の旋盤加工技術にニーズがあり、それをわかりやすくPRできるように工夫することで受注につながることが出来るようになってきています。

同友会再入会と経営指針成文化と実践の会の受講

中小企業家同友会には32歳で一度入会しましたが、商工会での役職で多忙になったことから一度退会し、2019年に再入会しました。燕支部内では役職を受けて活動していました。が、同じ燕支部の前山さん(有)MRオート)の経営指針発表を聞く機会があり、刺激を受けて経営指針成文化と実践の会を受講することになりました。指針を受けて変わったことは、他責がなくなつて自責になったこと。それにより自分で動くようになったことが大きいと感じています。

「ごまつたときの小林鉄工」と頼られるように

今年から顧客からの問い合わせに対するレスポンスのやり方を変更し、展示会に出展した後、一時的に増加する見積もり依頼や問合せに対して、必ずその日のうちに回答すると決めて対応したところ、関係が構築されて問合せが継続するようになっていて、新しい受注にもつながっています。

製造業は不況で、既存顧客の8割の受注が

減少しているなか新しい仕事を作る取り組みを開始しています。社員教育に通じるころもありますが、難しい仕事は経験者が対応するため新人が育たないが、簡単な仕事を受注していないので困っていました。グローバルマーケティングさん(新潟支部)に相談して、大学にアカデミック価格で図面を製品化する等のサービスを開始しました。大学で作られた新素材の活用や加工など、新しい仕事を作る分野に若手人材を登用して加工技術の開発に取り組んでいます。

単品の試作という仕事が多いが、その先の量産まで出来るようにしていくことも視野にいった設備投資も考えています。名刺にも書いている「困つたときの小林鉄工」と頼られ相談される会社として、外部の企画研究室の役割にもなれる会社を目指し、小林鉄工を通して新しい製品が生まれてゆくことを目指していきたい。その為にも、これまで培った多くの経験から「ある技術を整理」をする取り組みを行って、さらに技術力を上げていこうと思っています。



小林鉄工株式会社

代表取締役：小林 大士 氏(燕支部)
事業内容：1mまでの大物旋盤金属加工とMC加工
住所：燕市富永402-1
TEL：0256-92-6208
<https://www.kobayashi-tekkoh.co.jp/>
創業：1961年 従業員数：30名

支部・委員会・部会活動報告

新潟支部

新潟支部だからこそ 出来る挑戦



新潟支部例会の様子

本年度、新潟支部長を任命致しました
(株)CreativeLABの中村修吾と申します。

新潟支部は「主体者たれ」というスローガンの元、支部長・4地区長・各幹事と共に学び多く活気ある新潟支部を作り上げていきますので、何卒宜しくお願い致します。

各地区主体による例会作りと小グループ活動(どうゆうナレッジ、金融チーム、入会同期会等)がほぼ毎月開催されます。4月から本年度が開始したのですが、正直、初動は慣れない事もあり上手く運営できてないと反省点が多くあります。だが、この反省点から学び、今迄にない目立つ新潟支部を作り上げていく所存です。

私の今年の「文字」は「楽」です。楽しんで楽しむではなく、「生懸命頑張つて楽しむ」「楽」です。前支部長が残された「経営を楽しむ」という姿勢も引継ぎ、学びを楽しむ、出会いを楽しむ。その延長線上にこそ、持続的な仲間づくりが広がっていくと思っております。

私の入会動機は「経営層と繋がりたい。色々な経営の話を知りたい。情報が欲しい。新たなビジネスチャンスが欲しい。」という単純な動機です。自分が一番楽しむ未来の為に原点回帰し、楽しみ多く、学び多く、出会い多く、ビジネスチャンスの多い新潟支部を作ります。

新潟支部長 中村 修吾

(株)CreativeLAB 代表取締役 新潟支部
セントラル地区) 記

長岡支部

共創と成長



本年度の方針は「共創と成長」と題し、中小企業同士が連携し地域経済を活性化させることを目指しています。取り組みの一環として、オンラインとリアルを融合させた交流会や研修セミナーを開催し、幅広い業種の経営者同士が意見交換できる場を設けたいと思います。これによりノウハウの共有や新規事業のヒントが生まれるなどの成果が見えてくると考えております。

長岡支部は独特な特色を持ち、若手経営者委員会では次世代リーダー育成研修において経営や環境の変化に適應するための経営ビジョンの心構えについて学び、新規事業展開の加速を図っています。今後も地域経済に根ざした課題解決に取り組みながら、会員の連帯感を深めていく展望です。

今年の抱負の漢字「文字」は「絆(きずな)」。これは経営者同士、そして地域社会との強い結びつきを象徴しています。困難な時代こそ「絆」を大切に、共に歩む力を高めていく所存です。

長岡支部長 斉藤 和也(第四電設(株) 代表取締役副社長 長岡支部) 記

(一社)新潟県中小企業家同友会には5つの委員会・4つの部会があり、希望する会員は委員会・部会にいくつでも入ることが出来ます。合計9つの委員会部会は経営の課題ごとに分かれており、それぞれのテーマを専門的に学び、問題を解決していくところです。現場に直結した専門分野を深く学び、経営課題を解決するために共に学ぶ活動を行っています。

共育求人委員会

「一社ではできないことを
皆の力で」



合同入社式



新入社員研修風景

今年度の共育求人委員会のスローガンは「一社ではできないことを皆の力で」です。

この「一社」には、地域社会の「社」、会社の「社」、そして一般社団法人である新潟同友会の「社」という意味を込めており、単独では達成が難しいことも、皆の協力で実現できるという思いを表しています。

昨年度は数名でスタートしましたが、今年度は15名を超える体制となり、共同求人と社員共育の2チームで活動しています。

社員共育チームでは4月4日に合同入社式と新入社員研修を実施し、「おこ様や新潟日報様にも取材いただき、同友会の広報にも繋がりました。

共同求人チームは教育機関との連携強化を目指して、大学や高校、専門学校を訪問し、信頼関係の構築に努めています。

この委員会の活動は、経営者はもちろんのこと、共に働く社員も成長し、巡り巡って、自社の成長にも繋がる委員会活動だと私たちは感じています。

抱負を表す漢字は「紡」です。

互いの絆を紡ぎ、皆の力でより良い未来をつくり出す想いを込めています。

最後に、委員会に共感し参加いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

成果が見えるまで、5年、10年と続く息の長い活動ですが、今後ともよろしく願います！

共育求人委員長 佐藤潤一
(株)インプレッション 代表取締役社長
新潟支部セントラル地区)記

女性部会

みんなの意見を受けて
前に進む【帆】に



今年度の女性部会は「女全交(女性経営者全国交流会)」と「女性議員との懇談会(第3回目)」の2本柱で活動しています。

女全交はなにわ茶屋女将 奥野 真理香氏、小さな店の女将が大きな夢をもって挑戦し続ける報告です。

今年度3回目となる女性議員との懇談会は、前回新潟県女性議員の会ともパイプが繋がりました。今後は懇談の場を定期継続し『女性が生き生きと生活できる地域づくり』を共に考え発信し行動していきたいと思っています。

抱負【帆】

前年度は、とにかく女性部会に参加して欲しい。女性部会が元気になるワクワクするような活動をしていきたいと前のめりになっていたと反省しています。リーダーとは？今年度私はどうあるべきか？心底戸惑っているときにこのお題をいただきました。舵でもオールでもましてやイカリでもなく【帆】になろう。みんなの意見を受けて前に進む【帆】になりたい。なかなか難しい、でも私に必要なこと。今一番の課題です。

女性部会長 鳥山 道子(とりやま保隆(株)代表取締役村上支部) 記

《新入会員紹介》

入会おめでとうございます。新しく入会された会員を紹介します。》

①役職 ②業務内容 ③支部 ④入会日 ⑤紹介者



のむら しゅんすけ

野村 俊輔

miracleave (株)

- ①取締役
- ②「アプリ開発」「生成AI活用」「DX」「教育事業」の4つの事業軸に活動
- ③佐渡支部
- ④2025年3月5日 入会
- ⑤柴原健司

miracleave株式会社(ミラクリーブ)の野村俊輔です。DX支援・システム開発を主軸に、佐渡でAI研究開発ラボを運営し、AI活用支援に注力しております。



たけむら しゅんいちろう

竹村 駿一郎

miracleave (株)

- ①
- ②「アプリ開発」「生成AI活用」「DX」「教育事業」の4つの事業軸に活動
- ③佐渡支部
- ④2025年3月5日 入会
- ⑤柴原健司

miracleave株式会社の竹村駿一郎と申します。約2年半前に東京から佐渡へ移住し、離島生活をエンジョイしながらwebシステムやモバイルアプリ開発のPMとして働いております。私自身は経営者ではなく、まだまだ若輩者ですが、是非皆様と交流できればと思います。よろしくお願いいたします。



おがわ なおや

小川 直哉

(株)テクノナガイ ソラーレ

- ①営業部部長
- ②太陽光発電・蓄電池・省エネ設備設計・施工
- ③新潟支部イースト地区
- ④2025年3月19日 入会
- ⑤長井祐三

新潟支部イースト地区へ入会しました。(株)テクノナガイソラーレの小川直哉と申します。弊社は新潟市を中心に、太陽光発電と系統用蓄電池の事業を行っております。私自身はまだ経営者ではありませんが、同世代・先輩の若手経営者の方との交流を楽しみにしております。色々と至らぬ点があるかと思いますが、ご教授いただければ幸いです。よろしくお願いいたします！



おかだ ゆうじ

岡田 裕司

(株)岡久

- ①代表取締役
- ②塗料の調色・販売。資材・機械の販売。設備工事業
- ③三条支部
- ④2025年3月25日 入会
- ⑤山崎晃史

(株)岡久 岡田裕司と申します。青年団体を卒業し、学びの機会を探していたところ、(有)かつぼ屋の山崎晃史さんのご紹介で三条支部に入会させて頂きました。まだまだ4年目の若造経営者ですので積極的に参加させていただければと存じます。宜しくお願いいたします。



むらやま かずえ

村山 和恵

(株)パッチワークAKIHA

- ①取締役
- ②まちづくり、地域活性に関わる業務、ゲストハウスの運営等
- ③新潟支部セントラル地区
- ④2025年3月26日 入会
- ⑤柳徹

株式会社パッチワークAKIHAの村山和恵と申します。株式会社アルファ技研の柳徹さんの紹介で入会しました。新潟市秋葉区でまちづくり会社に関わっています。会社の代表ではありませんが、皆さんと交流を持ちながら学べたらと思います。よろしくお願いいたします！



かさま ひろのり

笠間 大典

新潟肉と海鮮・50種の地酒つるまる

- ①店長
- ②新潟食材と地酒にこだわった居酒屋
- ③新潟支部セントラル地区
- ④2025年3月27日 入会
- ⑤鶴田雄介

様々な経営者の皆様との交流を経てたくさんのことを学びたいと思います。現在は店舗があるため、会などにはあまり参加できないかもしれませんがよろしくお願いいたします。



櫻井亮介さん



神田晃さん

私とお話しませんか？ 会員交流の館 支部長のバトン

会員が「今一番会いたい、話を聞きたい」会員を訪問するコーナー。今月号は「支部長のバトン」として、三条支部より2024年度支部長 櫻井亮介さん（有櫻井商店）と2025年度支部長 神田晃さん（有神田板金）のお二人のお話をお届けいたします。

vol.24

Q:お二人の入会のきっかけや、「三条支部」に感じていること、想いなどを教えてください。
神田：私は元々同友会の事自体は聞いたことがあって、地元のJCを卒業したあと、隠れ蓑的に同友会に入りました（笑）。ちょうど「コナ」が始まった頃ですね。
櫻井：私が入会したのは、2014年のことで、40歳で地域の青年経営者の会が終わって、「同友会って会がある」と誘われ例会に参加し、「一緒に参加した知り合いが先に「入会します」とその場で言ってしまう流れで私も入会



は広く」ということをスローガンにしています。色んな人がいて、勉強したい人、緩い人、たまに顔を出してくれる人、そんな人たちが満足してくれる支部を継続していきたいです。
櫻井：昨年、三条支部が増強という面で表彰していただきましたが、本当に自分は何もしていないくて、支部の中で同友会を広めて誘ってくれる人がいて、そこが広がって今の三条支部があります。例えば、ラーメンを食べに行つて、おいしかったら「この間おいしいラーメン屋見つけてさ」と勝手に紹介してくれると思うんで

することになりました。正直なところ、当時はつまらなくて、しばらくしてやめようと思っていたんですが、ずるずる残っていました。人間、面白くないなと思うたらやめちゃうと思います。自分が支部長になって、特別なことは一切していないんですが、フランクな関係を築きたいなと思うんです。同友会は一つのコミュニティで、それぞれの課題も、それぞれの学び方もたくさんあります。それを縛り付けないように、参加しやすい支部にして、そこから委員会部会などで自身にあった学び方をしてもらえばいいと思っています。

すよ。だから、満足してもらったことが大事だと思っています。それに、入会させた側にも責任があると思うんです。その人が悩んでいることを聞いて、「指針受けてみたら？」とか、「○○委員会に出てみたら？」とか、そういうことができるのが支部だと思います。入会もそうですが、退会しなくていい支部であれば、自然と仲間は増えていくんですね。
神田：自分の代でというわけではありませんが、私は三条支部が会員を増やしていつて燕三条エリアに事務局の拠点を作っていただきたいと思っています。支部がないと、同友会は成り立たないんです。自然体で、虚勢を張らなくていい仲間がいる支部であり続けたいと思っています。

対談者

三条支部2024年度支部長

企業：有櫻井商店
代表取締役：櫻井 亮介 氏
事業内容：リフォーム、アルミサッシ

三条支部2025年度支部長

企業：有神田板金
代表取締役：神田 晃 氏
事業内容：外装のトータルリフォームメーカー、屋根・外壁・雨どいの専門工事店、屋根材で作ったインテリア黒板・完全自由設計のサウナ小屋の製造販売、カフェ運営

例会や行事の報告など、情報共有の場としてフリーテーマで同友会の情報を発信します。

中小企業家同友会全国協議会 第57回定時総会in神奈川 参加レポート



第4分科会報告者の古川氏(左)と座長の吉田氏(右)

2025年7月3・4日に、パシフィコ横浜会議センターにて、中同協定時総会が開催されました。新潟同友会からは11名が参加し、第4分科会にて古川敦義さん(株)NODA代表取締役三条支部新潟同友会総務理事)が「同友会と企業経営は不離一体 同友会の学びと実践」をテーマに報告されました。新潟から参加した11名の内、第4分科会座長を含む3名の方からの感想を紹介いたします。

(株)吉田工業
代表取締役 吉田 智氏
(燕支部)

中同協定時総会第4分科会に座長として参加して来ました。決して経営成功論ではない古川さんの報告ではあったのですが、私は今回このお役目をいただきました。

それは、「信念を持つ経営判断」です。経営は判断の連続です。古川さんのように、時には売上・利益を落とす結果であっても、信念を持つ判断することで、自社の未来に向かって進むことができる。これは今までの私には無い部分でした。ただ、この「信念」は経営者自身を疲弊させるものであつてはいけないとも思いました。

た。「自身の魂が震え上がるような信念こそ必要なのだ」と学びました。全国大会の分科会座長を経験させていただきありがとうございます。もともと人間らしく！頑張りまっす！

エフテクニクス(株)
代表取締役 藤島 俊祐氏
(新潟支部イースト地区)

定時総会には初めて参加しました。まず感じたことは、参加者の方は何かしら同友会との不離一体の運動をされ、自社経営にも生かしている方々が非常に多かったことです。参加した第7分科会では、「共に育つ」というテーマで報告がなされました。まず理念ビジョンを明確にすること、社員さんの声を経営に生かし、しなやかな組織を作ること、その中で社員全員の意見があつても、その意見に社長が問題提起しひっくり返すこともあるということ、その繰り返し、全員のベクトルを合わせ強い組織を築いていくことと、私は受け取りました。この感想をみているあなたへ、百聞は一見にしかず、同じ会費を払っているなら一度全国大会への参加を強くすすめます。

(有)エムズグラフィック
代表取締役社長 樋口 由賀利氏
(三条支部)

今回参加させていただいた第57回定

時総会in神奈川は「真の人間尊重の社会をつくり新しい歴史を創造しよう」というスローガンのもと、発表から50年を迎えた「中小企業における労使関係の見解」を改めて学び直す記念の定時総会でした。経営指針の成文化と実践の会を受講したばかりの自分にとっては、これからの実践に向けてもう一段階段を登りたい気持ちで臨みました。その思いが通じたのか、労使見解の師匠の様な鋤柄中同協前会長と同席ができ、様々な言葉をいただき感動とともに経営へのヒントを多く持ち帰ることができました。鋤柄さんの最新著書である「経営者を叱る」の表紙帯には次の様な事が書かれています。【楽をしたいなら経営者をやめなさい！いますぐに！】こんなに、ド直球で経営者の心得をいただけたのはやはり動いて、交流の場に身を置いたからこそではないかと感じています。そして今回のもう一つの目的は、次の女全交に向けて直近の全国大会の雰囲気を感じてくることと、全国に散らばっている女性経営者仲間とリアルで会って話し、9月の再会を約束するためでありました。実際に顔を見て気持ち共有し、問題解決のために学びと実践する姿勢を見るだけで、こころも勇気が湧くものかと実感しました。やはり自分で動き、自分で知識と経験をとりに行く事は、質を高めることに直結するのだと思います。感謝！

DO YOU KNOW? にいがた

2025年9月1日号

一般社団法人 新潟県中小企業家同友会 広報情報化委員会

住所：〒950-0901 新潟市中央区弁天1丁目1-16 サンテラス石宮2-A

TEL：025-288-1225 FAX：025-288-1226

E-mail：info@niigatadoyu.jp

HP：https://www.niigatadoyu.jp/

頒価250円(年間3,000円・送料別) 会員の購読料は会費に含まれます。

編集後記

今回、燕支部の小林鉄工さんに特集記事の取材で伺いました。見たこともない大きな金属加工機械が所狭しと並び工場内を案内していただき、整理されて働く方々の利便性も考えられた職場を拝見して、会社愛を感じてほっこりしました。記事にしきれない刺激を受けられる役得に感謝です。

(株)ヨネヤマDF 米山 光紀
(新潟支部ウエスト地区)記